

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル(LMI)に加盟している日本の宣教団体です。

ビザ発給手続き 11月 来年早々出発目指す

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師補
笹川雅弘・由利子

主の御名をたたえます。長らく停止されていた在日米国大使館のビザ発給業務がこのたび一部再開されたことに伴い、宗教活動家ビザ(R-1ビザ)取得のための大使館での面接日程を11月20日(金)に確保

することができました。すでに米国移民局からの承認はいただいているので、感染の再拡大等によるビザ発給業務再停止がなければ、ようやく渡米の道が開かれる運びとなりました。



十日市場めぐみキリスト教会で行われたデピュテーション(2020年6月)

皆様のお祈りに改めて感謝いたします。

一方、最近の全国的な感染拡大傾向を受けて通常通りの礼拝が行えない教会が多くなり、デピュテーションの件数も訪問教会からの献金収入も大幅な減少を余儀なくされております。宣教地のニューヨークめぐみ教会から一刻も早い赴任を求められている状況を受け、予定通りの面接とビザ発給を前提に年明け早々の出発を目指して準備を進めておりますが、アメリカでの生活を立ち上げるために必要な資金がまだまだ不足しています。どうか派遣準備のための特別

なご支援を何卒よろしくお願いいたします。諸教会を訪問できる期間も残り少なくなってまいりました。礼拝堂に集まれる人数に限りがある状況でも、ぜひ、お招きいただくことをご検討いただけますならば幸いです。

世界的レベルでは、なかなかパンデミック収束のきざしが見えない中、NYでもまだまだ生活は通常に戻っていません。しかし現在NYめぐみ教会では一部の方が会堂に集いつつ、ZOOMで主日礼拝を守っており、9月27日のウェルカム礼

拝では私が日本からメッセージをさせていただきました。また毎週火曜日の求道者向けバイブルスタディーもZOOMで再開され、私も日本から参加させていただいております。ゴスペル伝道活動は、今年

いっぱいはいえませんが、教会とのつながりを持った方々との関係が引き続き保たれ来年以降につながればと願っています(下の写真は昨夏夏のゴスペルコンサート)。コロナ禍の中にあってもメンバーの信仰が守られ宣教活動が前進しますようお祈りください。



連絡先: LMJ世界宣教会 熊久保公義
電話: 045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com

ホームページが
完成しました!

HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

多くのピリピ教会に支えられて

ニューヨーク周辺邦人宣教・NYめぐみ教会
立石尚志・聖美宣教師

主の御名をほめたたえます！

今号をもって現役宣教師最後のVOICE記事になりますが、今に至るまでお祈りとお捧げものをもってニューヨーク周辺邦人宣教の働きを支えてくださり、改めて心からの感謝を申し上げます。

コロナ禍の中、各地の教会で最後の帰国報告を行なっています。懐かしい方々に直接お会いすることができたこと、また米国でご一緒した教会員や求道者の方々とも再会を果たすことができていることは大きな喜びです。12月まで続けます。まだ予定が空いているところもありますので、是非、ご連絡ください。

喜びの手紙として知られているピリピ人への手紙は宣教師パウロから支援教会への感謝の手紙であったことをご存知でしょうか。ピリピ教会は異邦人であった紫布の商人ルデヤとその家族、九死に一生を得たあのピリピの看守とその家族が救われ、まさに救いの喜びに満ちた異邦人教会として始まりました。世界中の人たちに救いの喜びを分かち合いたい、という熱心な思いから貧しさの中、宣教師パウロの働きを金銭的にも人的にも喜んでサポートしたのです。パウロにとってピリピ教会は正に福音宣教のために戦ってくれた戦友だったのです。

私たちが宣教師としてデピュテーションを開始した2002年4月よりこの18年間、主は私たちにも多くのピリピ教会を備えてくださいました。働きが順風満帆の時も、苦難を通過していた時も、それらのピリピ教会は私たちと共に歩んでくださいました。自己中心的な時代の中で、皆様は心を外に向け、一人の人の救いのために祈り、また支えてくださったのです。主がピリピの教会を喜ばれたように、皆様のことを心から喜んでくださっていることを確信しています。

私たちは現在、後任の笹川先生ご夫妻が派遣されるまでの期間、ニューヨークめぐみ教会を日本からオンラインでサポートさせていただ



主日伝道礼拝に招かれた立石尚志・聖美宣教師

ています。先生方が渡米できた時点で現在行っているオンラインサポートを先生方にお渡しし、正式にLMI世界宣教会の宣教師としての働きを終了します。年明けからは、松見ヶ丘キリスト教会（東京都町田市）で協力牧師として引き継ぎを行い、4月からは牧師としての働きに着かせていただく予定です。

世界で最も福音が浸透していない、最も大きな民族グループはバングラデシュのシャイク族というアラブ系イスラム教徒たちで、1億3500万人のうちクリスチャンは0%です。しかし私たち日本人は何と世界で2番目です。1億2100万人中、福音的信仰をもっている人は0.3%足らず。ということは1億2000万人がイエス様の救いを知らずに日々暮らしているのです。どのような形であれ、この方々へ福音を届ける使命が残っています！

コロナの影響でニューヨークの駐在員社会はビザの発給状況等で大きな変化の只中にあります。駐在員の絶対数が減る中、日本語教会も働き手が不足し、現状維持モードになってしまいます。だからこそ宣教師が派遣されることに意味があります。これからバトンを笹川先生ご夫妻に渡して行きますが、ぜひ、引き続き、働きを覚えてくださいましたら幸いです。

＜お祈りください＞

NYめぐみ教会のメンバーとなって、笹川先生ご夫妻と共に宣教の働きを担ってくださる働き人（永住者・駐在員）が加えられますように。

お産「神の平安の中で」

バングラデシュ医療宣教師
近藤 恵

まだ日本にいます

みなさまお元気ですか?とても暑い夏でしたね。私は本来9月にバングラデシュに戻る計画でした。でも9月になって、ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルの院長先生ドクター・タポシュも感染し(良くなって感謝です)、他に学生たち13人もPCR検査が陽性に出たことを考えると、今行くと感染する可能性はかなりありそうです。感染症の専門家でもない私が行くことのメリットよりもデメリットが大きいと考え、11月まで様子を見ることにしました。

今、できること

さて、この日本で与えられた時間をどう使うかというのが問題です。以前ジョイランクーラのお産を改善する知恵を得るために、近くの助産院を見学させてもらっていましたが、今は密になりすぎるので中止しています。そこで他に何かできないかと思っている時に吉村正先生という方の本に巡り合いました。先生は自然出産に取り組まれている方です。「お産は宇宙が生ませているんだ」と考え、医療的介入をほとんどしません。「妊娠中に自然な生活をし、自然な食べ物を食べ、自然な心でいればほとんど問題なくお産できる」のだそうです。「ごろごろ、ぱくぱく、びくびくしない」という指導をされています。《ごろごろ》は、妊娠したからといって、ごろごろ寝て安静にしてばかりしてはいけない、毎日しっかりと体を動かすこと。《ぱくぱく》は西洋のカタカナの名前がついた食べ物

を食べないで、和食の粗食をすること。《びくびく》は、情報に振り回されないで、女性に本来備わった産む力を信じて、のんびりした心で過ごすこと一です。(参考文献:「しあわせなお産をしよう」春秋社など)

「なるほどね」とは思ったものの、もともとバングラデシュの貧しい人たちは働かざるを得ないでしょうし、全員にそんなことを言ったら、重労働を課される人も出てくるでしょう。また、栄養不足の人も多いので、これも全員にパクパク食べるなどは言えません。むしろ必要な人には、栄養価の高いものを食べるように指導すべきでしょう。最後のびくびくしないは確かに必要だと思います。ほとんどの人が何の知識もなく、お産に突入し、怖がっているのでもうまくお産が進んでいない印象があります。私は産婦人科医でも助産師でもありません。私自身がお産に直接貢献できることは少ないと思います。でも妊娠中から妊婦さんに必要な知識を与え、神様が産ませてくださるのだから大丈夫なんだよというメッセージを伝えられればいいんじゃないかなと思いました。そのために何ができるか?これが今の向かおうとしている方向です。



派遣教会の自治医大前キリスト教会で行われたデピューテーションで話す近藤恵医療宣

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

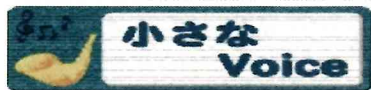
☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

e-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention
Christian Health Project
Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
Mymensingh, BANGLADESH

【祈りの課題】

- ジョイランクーラのスタッフや学生たちがコロナから守られるように。
- 最も良い時にバングラデシュに戻れるように。
- 第5期に向けての準備のために。
- 母と姉の救いのために。



アンドレアス・グロース：リーベンゼラ宣教師チームリーダー



「最高の友」伝えよう

皆さん、こんにちは。まだ私をご存じない方のために、自己紹介から始めたいと思います。私はアンドレアス・グロースと申します。今年6月からペーター・シュローツ宣教師の後任として、日本で働くリーベンゼラ宣教師のチームリーダーをしています。

2009年に私は妻と一緒に初めて日本に派遣されました。これまでにエリーア（8歳）、マレア（7歳）、ホセア（2歳）という、活気に満ち満ちた3人の子供たちに恵まれました。来年の4月には、さらに4人目の子供が与えられる予定です。休暇の時は多摩川や公園に出掛け、家族みんなで自然を楽しむのが大好きです。天気の良いときは、子供たちと一緒にレゴを組み立てて楽しんでいます。いかがですか、私のことを多少は身近に感じていただけたでしょうか。

来年、私たち一家は開拓伝道を始めるために東京都稲城市に引っ越します。新しい環境の中で、私たちは「知らない人」になるわけです。ところで、皆さんは知らない人に話し掛けたことがありますか。といっても、初めて礼拝に来た人に挨拶するとか、通りで道を尋ねるといったことではありません。そうではなく、初めて会った人に関心をもって、優しい気持ちで話し掛けたことがありますかということです。例えば、隣に

人が越してきた時、あるいは自分が引っ越しをした時のことを想像してみてください。新しい場所では心細くて、誰しも寂しくなるものです。でもそんな時、見えない壁を乗り越えて自分に話しかけてくれる「誰か」がいたならば、状況はまったく違ってくるでしょう。

この「誰か」はイエス様です。イエス様は、私たちに愛をもって話しかけてくださるお方です。もちろん、主にとって私たちは知らない人ではありません。イエス様は私たちが自分を知るよりも、もっと良く私たちのことを知っておられます。私たちが罪びとであった時、私たちにとって神様は全く見知らぬ方でした。だからこそ、イエス様はこの世に来られ、神様はどんなお方なのか、天のお父様はどれほど私たち人間を愛しておられるのか、私たちに語りかけ、教えてくださったのです。イエス様は、今度は私たちを、神様をまだ知らない人たちのところに遣わされました。私たちがその人たちの友となって、最高の友であられるイエス様を伝えるためです。イエス・キリストにあるなら、私たちはもう知らない人同士ではありません。私たちは素晴らしい、神の家族の一員なのです。たとえ個人的な知り合いがない教会を訪問した時でも、私は教会の中でくつろぐことができます。なぜなら、私たちは皆、一人の同じお父様を天にもつ「家族」であることを感じるからです。

目下、私たちはソーシャルディスタンスを守って、知らない人に話し掛けるのも控えるべきかも知れません。見知らぬ人と出会い、その人の友となるには、今は格段に難しい時代です。それでも私たちは、近所から始めて世界中に出て行き、最も素晴らしい友であられるイエス様を伝えていきましょう。

理事会便り

★理事会は9月もZOOMで行われました。各宣教師の歩みが主において導かれていることを確認する幸いな時でした。理事会に与えられている役割を知恵をいただいて誠実に果たせるようお祈りください。

★NYめぐみ教会では、立石宣教師によってZOOMなどを用いた礼拝説教

やグループ聖研のご奉仕が行われています。立石尚志・聖美宣教師夫妻のデピューテーション、今後の歩みのためにお祈りください。

★笹川雅弘・由利子宣教師補を派遣する準備も着々と整えられています。続けて祈り、お支えください。11月20日にビザの審査が行われます。熱い祈りをお願い致します。

★近藤恵医療宣教師も祈りつつ第5期バングラデシュ宣教へ、年内の出

発を願って備えております。ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルの働き、現地医師たちの働きが守られますように。続けて同刻の祈りにもご参加ください。

【祈り】聖書はこう言っています。『この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない』（ローマ 10:11）

（田辺証夫・LMI世界宣教会理事長）

LMI世界宣教会

(LM-J 本部 & ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4 (かもい聖書教会気付) ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局 (会計) e-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/> (ドイツ語), www.liebenzell.ca/ (英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」